



2020.07 / Vol. 44 / Soccer Journal デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

フォルトウナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

125 JAHRE
1895 - 2020

ブンデスリーガ2部降格が決定

FORTUNA STEIGT IN DIE 2. BUNDESLIGA AB

瀬田元吾が日本デスクを離任

GENGO SETA VERLÄSST FORTUNA

中央大学がカレッジパートナーに

CHUO UNI. IST COLLEGE PARTNER





One Team. One Family



www.toyo.de



@ToyoTireDeutschland

TOYO TIRES

日本人フォルトゥナファンの皆様

Liebe japanische Freunde von Fortuna Düsseldorf

フォルトゥナ・デュッセルドルフ スポーツ役員 ウヴェ・クライン

Uwe Klein, Fortuna Düsseldorf, Vorstand Sport

2020年は非常に異例な年となり、我々にとって忘れられないシーズンとなりました。クラブは今年で創立125周年を迎えましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた多くのイベントが中止となり、残念ながら我々が計画していたものとは異なる形で祝祭開催を余儀なくされました。また今シーズンが厳しい戦いになることや、最終節まで残留争いを繰り広げる展開になるということは、誰もが十分に承知していましたが、最終的に目標を達成することができず、ブンデスリーガ2部降格という結果になってしまったことは非常に残念です。しかし我々は、この結果を現実的に評価する必要があります。我々は、リーグの中で2番目に少ない予算を持つクラブであったにも関わらず、選手らやコーチングスタッフを始め、クラブスタッフ全員が1部リーグ残留に向けて懸命に戦ってくれました。

ブンデスリーガ2部に降格したことで、財政的な面も含め、クラブが崩れるということではありませんし、ウヴェ・ルスラー監督は低迷していたチームを立て直し、ほぼ全ての面においてそれまでを上回るデータを残してくれましたので、来シーズンにはきっと成功を収められると確信しております。そのためにも、ブンデスリーガ2部での戦いに向けて、強力なチームの編成を行なっています。

また私はこの場を借りて、クラブを代表し、フォルトゥナの日本デスクを退任した瀬田元吾に心から感謝の意を表したいと思います。ゲンゴは僅かなリソースでフォルトゥナの日本デスクを設立し、そのポジティブな性格と仕事への勤勉さで、クラブを大きく成長させてくれました。我々はゲンゴに、今後も公私ともに幸



運が訪れることを祈っていますし、フォルトゥナは彼のために、いつでも門を開けて待っています！そして彼の後任となる薬丸隼人と廣岡太貴が、フォルトゥナで良いスタートを切ってくれることを願っています！

日本人フォルトゥナファンの皆様とともに、我々の道を歩めることを楽しみにしております。応援よろしくお願ひ致します。

Impressum



Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Pflinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann
(medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta
(japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff, Gengo Seta,
1. FC Köln, FC Bayern,
Florian Eisele

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski

Druck 印刷:
Clasen GmbH



ブンデスリーガ2部降格が決定

Fortuna steigt in die 2. Bundesliga ab

新型コロナウイルス(以後、コロナ)の影響による2ヶ月の中断期間を経て、6月27日に2019/20シーズンの全行程を終えたブンデスリーガだが、最終順位が17位となったフォルトゥナは、残念ながらクラブ通算6度目となるブンデスリーガ2部への降格が決定した。





1月末にウヴェ・ルスラー新監督の下、新しいスタートを切ったフォルトゥナは、その後の6試合で1勝1敗4分という結果を残すなど、他の1部リーグクラブと対等に渡り合う力があることを証明していた。

コロナによる中断期間を経て2ヶ月ぶりに再開したブンデスリーガは、すべて無観客試合で行われたため、残留争いを繰り広げるフォルトゥナにとってはファンのサポートを受けられない中での戦いとなった。

再開初戦となったパーダーボルン戦は、フォルトゥナが圧倒的に

主導権を握るも、4度に渡りシュートがゴールポストに阻まれる不運にも見舞われ、0-0の引き分けに。続く1.FCケルン戦でも、2点を先行するなど完璧な試合運びだったにも関わらず、終了間際に立て続けに失点し、またも勝ち点2点を取りこぼしてしまう(2-2)。それでもホームにFCシャルケ04を迎え撃つと、先制こそ奪われるも、FWルーヴェン・ヘニングスとFWケナン・カラマンの得点で逆転に成功し、リーグ再開後、初勝利を挙げることに成功した(2-1)。

ところが続くFCバイエルン・ミュンヘンに0-5の完敗を喫すると、

続くTSGホッフェンハイム戦では開始早々に数的優位になる展開にも関わらず、勝利を掴むことができない(1-1)。さらにドルトムント戦では、CL出場クラブを相手に素晴らしい戦いを見せ、FWシュテフェン・スクリプスキが終了間際に立て続けにゴールポスト直撃のシュートを放つなど健闘したが、ロスタイムの94分に失点を許し、まさかの黒星となってしまった(0-1)。





新たな挑戦へ

Die nächste Herausforderung steht vor der Tür...





ドルトムント戦の敗戦から4日後にはライプチヒとの対戦を迎えることに。そこでルスラー監督は6人のフレッシュな選手をピッチに送り出すも、後半に立て続けに失点してしまう。しかしそこから怒涛の反撃を仕掛けたフォルトゥナは、スクリプスキ(87分)、DFアンドレ・ホフマン(93分)が次々にゴールネットを揺らし、土壇場で勝ち点1ポイントを挙げることに成功した(2-2)。

第33節のFCアウグスブルク戦は、開始早々6分のヘニングスのゴールがビデオ判定により取り消されると、逆に10分には失点を許す展開に。それでもフォルトゥナエースは再び25分に左足を豪快に振り抜き、試合を振り出しに戻して見せる。しかし後半追加点は奪えず、そのままタイムアップとなってしまった(1-1)。

入れ替え戦となる16位を確保するためには勝利が必要だった最終節のユニオン・ベルリン戦。しかしこの日はなかなか攻撃の歯車がかみ合わない。すると26分にコーナーキックから失点を許すと、後半にも2点を奪われ、最終的には0-3の完敗に。この結果、最終順位を17位に下げ、クラブ通算6度目となる2部リーグ降格が決定してしまった。これによりフォルトゥナは来シーズン、1部リーグ復帰に向けた新たな挑戦に挑むことになる。



F95 0-0 Paderborn

1.FC Köln 2-2 F95

F95 2-1 Schalke 04

Bayern München 5-0 F95

F95 2-2 TSG Hoffenheim

F95 0-1 Dortmund

Leipzig 2-2 F95

F95 1-1 Augsburg

Union Berlin 3-0 F95

リーグ再開までのフォルトウナの結束

Große F95-Solidarität vor dem Re-Start

困った時こそ、結束が必要。コロナの影響により、3月13日(金)から中断となったブンデスリーガは、5月16日(土)に再開されたが、その不安でいっぱいだった空白の約2ヶ月間には、様々な取り組みが行われるなど、改めてフォルトウナの結束の強さを確認する機会となった。



給与の一部を返納

コロナの影響はクラブの財政面にも少なくない損失を及ぼすこととなったが、この状況を受け、トップチームの選手や監督スタッフら及び、クラブの会長・役員らが、給料の一部を受け取らないことを表明した。

“Post für Dich(あなたにお手紙を)”

フォルトウナは慈善団体のKulturliste Düsseldorf e.V.と共同で、デュッセルドルフ周辺の低所得者に向けて、コミュニティーの繋がりを示す非常に特別な取り組みを実施した。同団体は本来、収入がほとんどない人々が社会的活動に触れるように、様々な文化的イベントやスポーツイベントに参加する機会を提供しているが、コロナが蔓延する状況では、これまでの形で実施することは困難であり、孤立や孤独へのリスクはかつてないほどに大きくなっていった。そこで“Post für Dich(あなたにお手紙を)”と題し、愛の込めた言葉を添えた約1,500枚にも及ぶ手書きのポストカードを、同団体の登録者やボランティア、パートナーの人々へ発送したが、このアクションにキャプテンのMFオリバー・フィンクとDFアンドレ・ホフマンも参加し、熱心に直筆メッセージを書き込んだ。

団結Tシャツを発売

苦しい時期の団結を示すため、団結Tシャツを製作することを決めたフォルトウナ。デザインは一般公募となり、最終的にはファンの投票によって決定されたものが、実際にプリントされる形で販売された。なお、このTシャツの販売で得る収益はすべて、フォルトウナのソーシャルパートナーのサポートにより、コロナの影響を大きく受け、援助を必要とするデュッセルドルフの人々に寄付されることとなった。





支援グッズを募集

フォルトウナはソーシャルパートナーであるVision:teilenと共同で、デュッセルドルフに暮らすホームレスの人々をサポートするための支援活動を行っているが、コロナ禍では直接的な接触が禁止されていたため、これまでとは違う形のサポートとして、フォルトウナファンより、使用していないテントや毛布、寝袋を集める呼びかけを行った。その結果、100を超える様々な支援グッズが集まり、それらは感染拡大を恐れて緊急宿泊所を離れたホームレスの方々へ提供されることとなった。

高齢者会員に配達サービス

コロナ感染拡大により、外出が制限されていたこの時期に、買い物などへ容易に出掛けられない高齢者をサポートするアイデアが考え出された。ユースアカデミーやフロントスタッフら19人が手分けして、クラブの75歳以上の会員約280人を対象に、パートナー企業から提供された食料品や、温かい直筆メッセージが書かれた手紙を同封した“イースターパッケージ”が配達された。この訪問とプレゼントは、自宅での孤独な生活を強いられていた多くの高齢者を笑顔にすることができた。

子供たちに挑戦状

感染拡大防止のため、チームの活動が禁止されてしまった子供たちのため、フォルトウナのユースアカデミーがデュッセルドルフとその周辺地域の子供たちを対象に、デジタルコンテストを実施した。デュッセルドルフ地域のチームは毎日更新される課題に挑戦し、ポイントを集めて総合順位を競い合うことで、コロナ禍でもチームの結束を感じながら、サッカーを楽しむことができた。





**DANKE FÜR
EURE UNTERS**



125 JAHRE
1895 - 2020

STÜTZUNG



125 JAHRE
1895 – 2020

オリバー・フィンク

7 / Oliver Fink

オリバー・フィンク

Oliver Fink

フォルトウナで11シーズンを過ごし、ここ最近ではキャプテンとしてチームを牽引してきた“フィンキー”ことオリバー・フィンク。来シーズンはその豊富な経験を活かし、U23チームの盟主としてプレーすることとなるが、そんなフォルトウナのレジェンドから、貴重な話を聞くことができた。

まずは今シーズンを振り返って。

今シーズンは常に順位を気にしながらの戦いになったけど、チームのパフォーマンスがなかなか結果として順位に反映されず、最終的に2部降格となってしまったことはとても残念だよ。

2部降格となってしまった原因は具体的に何だったかな。

チームとして良いパフォーマンスを見せていたのにも関わらず、それに相応しい勝ち点を獲得できなかったことだね。多くの試合で勝ち点を取りこぼしてしまったことが大きな原因だと思うよ。

新監督の下、チームはまとまっていた？

コロナの影響で、今後に関する具体的な情報がない中でも、今シーズンが最終節まで行われると確信していたし、だからこそ選手やコーチングスタッフを含め、いつリーグが再開となっても良いよう、プロフェッショナルにしっかり準備を進めていたよ。

自粛期間で最も苦しかったことは？

状況がいつどのように発展するかが全く分からなかったことだね。トレーニングに関しても、最初の3、4週間は個人メニューを受け取り、それぞれ自宅でコンディションを保っていたよ。その後、少人数でのグループトレーニングが始まったけど、それでも接触プレーが禁止されていたり、厳重な衛生管理やルールを遵守してのトレーニングは、すごく違和感があったね。

来シーズンのチームに期待することとは？

とても難しいね。多くの選手が契約満了でチームを去ることになる

から、しっかりと強化しなければならない。過去に2部リーグへ降格したチームは、非常に厳しい戦いを強いられているんだ。そしてファンにサポートしてもらえようチームを構成することも重要になると思うよ。

11年間という年月をこのクラブでやってきた理由は？

ボク自身このクラブでの居心地がとても良かったし、選手として大きく成長させてもらったので、このクラブから去ることを考えたことはなかったね。公私ともに満足な環境で過ごせることができたし、11年前に3部リーグからやってきたボクが、2度に渡りブンデスリーガ1部に昇格できたわけで、自分の選択は正しかったと思うよ。

3シーズンに渡りキャプテンとしてチームを牽引してきたよね。

それはとても光栄なことだし、他の選手よりも責任がある立場になるということは、ボクにとっても大きな挑戦だったけど、このクラブでキャプテンとしての役割を任されてからは、誇りを持って遂行したよ。

来シーズンはU23チームでプレーすることになったけど。

ボクのサッカーキャリアのスタートは5部リーグだったから、自分の原点に戻れるという意味では、とても嬉しく思うね。小さなスタジアムで観客も少ない中でのプレーになるけど、若い選手たちとプレーできることを楽しみにしているよ。それに引き続きサッカーができることは嬉しいし、これまでのキャリアを通して経験したことを、若い選手たちに伝えていくつもりだよ。

一緒にプレーした日本人選手との思い出や印象はあるかな？

彼らとは良い思い出しかないね。ボクは日本人の礼儀正しいところや親切なところ、それと少し控えめな性格が大好きなんだ。ボク自身の性格にも少し似ているしね。それにサッカーの面でも、特にタカ(宇佐美貴史)やゲンキ(原口元気)はクラブに大きく貢献してくれたね。全てが上手くいったわけではなかったけど、それでもこれからも多くの日本人選手がフォルトウナに来てくれることを願っているよ。

シント(アペルカンプ真大)はどう？

すごく良いよ。大きなポテンシャルを持った選手だし、サッカーに対する姿勢もプロフェッショナルで、トレーニングも熱心に取り組んでいるから、間違いなく将来有望な選手だね。

日本には行ってみたいと思う？

実は妻とも話し合っ、日本でプレーすることも考えていたくらいなんだ。日本人の性格もそうだけど、ボクたちは日本食も大好きで、毎日でも日本食レストランに行きたいくらい(笑)。それに日本人のおもてなしは本当に素晴らしいしね。ゲンゴ(今シーズン限りで日本デスクを離任した瀬田元吾)とは今後も連絡を取り合うし、選手キャリアを終えたら、必ず日本に行こうと思うよ。

最後に日本人のファンにメッセージを一言

どんなときもボクたちをサポートしてくれる日本人のファンみんなに心から感謝しているよ。これからもファンみんなにはスタジアムに足を運んでもらい、フォルトウナをサポートしてもらえよう願っているよ。

HAPPY BIRTHDAY, FORTUNA

125. Geburtstag

2020年5月5日にフォルトゥナはクラブ創立125周年を迎えた。コロナの影響を受け、予定していた色々な式典は変更を余儀なくされたが、それでもこの記念すべき日を多くのファンが様々な形で祝福してくれた。そのすべてがフォルトゥナへの愛を証明するものであり、この日はデュッセルドルフがフォルトゥナカラーである赤と白で溢れることとなった。

デュッセルドルフがフォルトゥナー一色に!



5,000,000枚!

Fortuna-Stickeralbum ein voller Erfolg

フォルトウナのクラブ生誕125周年を記念して発売されたパニーニアルバムが、空前のヒット商品となった。4月24日(金)にデュッセルドルフとその周辺地域で販売をスタートしたフォルトウナステッカーアルバムだが、5枚セットで発売されたオリジナルステッカーは、まもなく約50万袋を販売するなど、信じられないほどの大盛況となり、多くの店舗で売り切れが続出した。

この状態を受けてクリスティアン・コケマーケティング役員は「多くの人々に喜びを提供し、大盛況となっていることを非常に嬉しく思います。すべてのコレクターがこのアルバムをコンプリートできるような機会を提供していければと思っています」とコメントし、新たにステッカーパック50万袋分の追加生産を決定するなど、合計で500万枚のフォルトウナステッカーが市場に出回ることとなった。

大人から子供までがこのステッカー集めに夢中となったが、それは選手たちも決して例外ではなく、DFアンドレ・ホフマンやDFニコ・ギーゼマン、GKフローリアン・カステンマイヤーもステッカーを貼る作業に熱中していたが、レジェンドの1人、アンドレアス・ランベルツもまた、ステッカー集めに“ハマった”一人だった。





DANKE FÜR 13 JAHRE, GENGO!



瀬田元吾がフォルトゥナ日本デスクを離任

Japan-Beauftragter Gengo Seta verlässt Fortuna Düsseldorf

12年間フォルトゥナ・デュッセルドルフの日本デスクを担当してきた瀬田元吾(39歳)が、今シーズンを最後に離任することとなった。なお後任には薬丸隼人、廣岡太貴が就任し、同デスクの業務を引き継いで担当していく。

瀬田は2005年来独し、2005/06シーズンにはフォルトゥナのサテライトチーム(現U23チーム)でプレーした経験を持つ。そしてケルン体育大学大学院を経て、2008/09シーズンよりフォルトゥナのフロントで研修をスタートさせると、2008年10月には日本デスク設立に携わり、その後12年間に渡って日独の“架け橋”としてデュッセルドルフの伝統クラブに従事してきた。

退任にあたり瀬田は、「サテライトでのプレーを含めた13年間、このクラブに所属できたことを誇りに思います。その間には3度の昇格や2度の降格だけでなく、厳しい残留争いなども経験しましたし、トップチームで6人の日本人選手(結城耕造、大前元紀、金城ジャスティン俊樹、宇佐美貴史、原口元気、アペルカンプ真大)のサポートができたことも本当に良い思い出です。今シーズンが2部リーグ降格という結果になってしまったことは非常に残念ですが、ま

たすぐに1部リーグに返り咲いてくれることを確信していますし、そのために後任の薬丸・廣岡の二人が尽力してくれるものと信じていますので、今後ともフォルトゥナをよろしく願いいたします」とコメントしている。

なお、後任に就任する薬丸(27歳)は、2019年5月より3ヶ月の研修を経て、2019/20シーズンからは日本デスクのアシスタントとして、瀬田の下で経験を積んできた。また今年で30歳を迎えた廣

岡は、2012/13シーズンにフォルトゥナU23チームでプレーした日本人選手であり、瀬田同様に過去にプレーしたクラブでセカンドキャリアをスタートさせることになる。



矯正歯科専門 クリニック ベルゼンパーク
 矯正歯科専門医 Dr. グドルン リュベリンク
 Dr.med.dent. Gudrun Lübberink
 Theo-Champion-Str.15, 40549 Düsseldorf

Belsenplatz下車 徒歩3分、レストラン「和楽」隣
 0177 8623858 (日本語直通、完全予約制)





COLLEGE PARTNER

中央大学が“カレッジパートナー”に

Chuo Universität ist unser College Partner in Japan

フォルトゥナは更なる国際化に向けて、非常に重要な一歩を踏み出すこととなった。デュッセルドルフをホームタウンとする伝統クラブは、中央大学と日本における初めてのリージョナルパートナーとして、COLLEGE PARTNER(カレッジパートナー)契約を締結した

中央大学の商学部は2019年度からスポーツビジネスのプログラムを新設しており、このパートナーシップを締結したことにより、そのプログラムの中にさらにフォルトゥナと提携した講座を設けることが可能となる。またこのパートナーシップを通じ、最大で10人の学生がフォルトゥナでの1週間の研修プログラムに参加することになる。この研修では、クラブのフィ

ロソフィーや戦略マーケティング、チケッティング、CSR活動、ファン対応、ユースアカデミーについてなど、サッカークラブの経営における様々なノウハウを、それぞれの部署の担当者から学ぶだけでなく、フォルトゥナのホームタウンであるデュッセルドルフ市の市庁舎やクラブとパートナーシップを結ぶ日系スポンサー企業を訪問し、フォルトゥナを支援する意義

や意味を伺う機会も提供される。そして研修の最後には、ユースアカデミーチームの試合を視察するだけでなく、トップチームが所属するブンデスリーガのホーム試合では、試合運営を学ぶこととなる。

なお、このパートナーシップの契約期間は2020年4月1日からの2年間となり、現地ではクラブの日本デスクスタッフがすべて日本語で対応していく。

中央大学でスポーツビジネスを学ぶ

商学部プログラム科目「スポーツ・ビジネス・プログラム」



中央大学 商学部
「プログラム科目」

商学部プログラム科目

中央大学商学部では、スポーツビジネスや海外企業へのインターンシップ、地域の課題解決を目的とした商品・サービス開発などに挑戦するPBL型の講座や、公認会計士やファイナンシャルプランナー等の資格取得を目的とした講座など、将来のキャリア形成に直結する実践的な学修ができるプログラムを5つ設置しています。

スポーツ・ビジネス・プログラム

主にサッカービジネスに関する諸問題を学ぶことで、スポーツビジネスにおいて解決すべき課題を発見し、グループワークで情報収集・分析しながら、学生が主体的に解決策を提案していくプログラムです。

■スポーツ・ビジネス概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

スポーツビジネスの定義から現代社会におけるスポーツマーケティングの諸相、スポーツビジネスの構造やスポーツ政策などを学びます。

■スポーツ・ビジネス・チャレンジ演習/実習(明治安田生命寄付講座)

Jリーグ入りを目指すサッカークラブと提携し、ホームゲーム1試合での観客動員5,000人を目指し、ホームゲーム運営に関するスポンサー営業、広報、イベント企画、スタジアムグルメの誘致など集客のためのソリューションを学生が主体となって考案します。



2019年度は東京23FCのホームゲーム総合プロデュースに挑戦。ゲーム前イベント「ちびっこワールドカップ」も大盛況に終わり、メインゲームではシーズン最多の観客動員1,633名を達成しました。

■Jリーグビジネス論(明治安田生命寄付講座)

実際にJ1やJ2などのプロリーグに所属するサッカークラブにおいて経営に携わる責任者の方々が、サッカービジネスの実務について講演します。2019年度にはJリーグのチェアマンにも講演していただいております。2020年度以降も講演していただく予定です。

■スポーツ・ビジネス・プロジェクト

Jリーグに所属するクラブが実際に抱えている課題について提携しているクラブから提示していただきます。学生は課題を解決するためにグループワークで関連する情報を収集・分析し、自由な発想に基づくアイデアを加味した上で現実的な解決策を導き出し、クラブの経営陣にそのソリューションをプレゼンテーションします。

■グローバル・スポーツ・ビジネスキャリア(明治安田生命協賛講座)



フォルトゥナ・デュッセルドルフとの
カレッジパートナーシップにより実施

世界のサッカーリーグの中で最も経営的に成功していると言われるブンデスリーガ、その1部リーグに所属しているフォルトゥナ・デュッセルドルフと提携して、1週間ドイツに滞在し、最先端のサッカークラブ経営の実務を学びます。

なお、学生の渡独に際しては、明治安田生命相互会社からの寄付で奨学金も給付されることから、この講座は明治安田生命協賛講座と称されております。

2021年の2月頃には、中央大学の学生10名が上記講座の1期生として、デュッセルドルフを訪問させていただく予定です。

問い合わせ先

中央大学 商学部事務局



行動する知性。

 中央大学



三元豚
本格
豚カツ専門



TONKATSU
GONTA



Immermannstr. 28 電話 0211 1795653



YAKI-THE-EMON
炭焼居酒屋

深夜営業やっています!



Klosterstr. 28 電話 0211 86040193



炭焼居酒屋 中亭 焼鳥自慢

Immermannstr.38

☎0211360935



黒毛和牛焼肉 阿呼 AHUN



Hansaallee 246 電話 021153674474



SABI & GARI
Sushi Izakaya Oberkassel



Luegallee 13 電話 021195598404



CLASEN

≡ wo drucken zuhause ist. ≡

Willkommen in der Welt der Farben, Papiere und Druckveredelung. Wir achten darauf, dass sich Funktion, Haptik, Ästhetik und Wirtschaftlichkeit optimal ergänzen. Ihr Design und unsere drucktechnische Kompetenz führen zu perfekten Ergebnissen.

Ob stanzen, prägen, laminieren, lackieren, einen Farbschnitt aufbringen, wir machen fast alles möglich. Wir drucken bis 70 x 100 cm im Offset oder digital mit modernster Technik.

Dicken Karton, Sonderfarben, Hybridprodukte. Mit Bemusterung vorab, mit Druckabnahme, mit dokumentierter Qualitätskontrolle. Auch über Nacht. Auch bis ans andere Ende der Welt. Unser Standort befindet sich 1 km vom Flughafen und der Messe Düsseldorf.

Wer bei uns drucken lässt? Natürlich die Fortuna, die DEG und weitere große Sportvereine. Bekannte Werbeagenturen fühlen sich bei uns wegen der hohen Termintreue wohl. Industriekunden schätzen unsere Beratung und Qualität. Die Stadt und der öffentliche Dienst mag unsere Preise.

Wir sind PSO- (ISO 12647) und FSC®-zertifiziert, drucken klimaneutral und alkoholreduziert (IPA) und erzeugen Strom per Fotovoltaik.

Clasen GmbH

Spielberger Weg 66
40474 Düsseldorf

Fon 0211-447290-0

Fax 0211-447290-60

mail@druckerei-clasen

www.druckerei-clasen.de

